

- 令和4年度吉井川・旭川・高梁川水害タイムライン振返り検討会を開催
(令和5年1月12日(木) 13:30~15:30)
- 振返り検討会では、令和4年度の出水概要を振返るとともに、事前に実施した振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- 振返り(意見交換)では、改善方針に関連したテーマについて意見交換を実施

<タイムラインに関する振返り内容>

- ①令和4年度の出水概要の共有**
・タイムラインの運用状況、令和4年度の出水状況、読合せ訓練の実施概要を確認
- ②振返りアンケート結果の報告**
・振返りアンケート結果によって明らかになった、タイムラインに関する課題や改善方針を確認
- ③振返り(意見交換)の実施**
・改善方針に関連したテーマについてリアルタイムアンケートを用いて意見交換を実施

<テーマ毎の振返り(意見交換)内容>

テーマ	振返り(意見交換)内容
① 効果的な引き継ぎに向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「タイムラインの引継ぎの経験が無い」と回答 ・引き継ぎツール(解説動画、チェックリストなど)の重要性を確認
② 各機関で防災計画等の妥当性を検証する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・約8割の機関が「出水対応が無かった場合は防災計画等を検証していない」と回答 ・机上訓練による検証、他地域の災害を参考とした検証など、出水対応が無かった場合の検証方法を意見交換
③ タイムライン発動基準の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムライン発動基準を、早期注意情報(警報級の可能性)かつ府県気象情報の発表とし、確度が高い状況に絞ってタイムラインを発動することを事務局から提案 ・約9割の機関が「改善案に賛同する」と回答
④ 情報や進捗状況の共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・約9割の機関が「公開情報の共有は自動集約により効率化する方向性に賛同」と回答 ・気象等の見込み情報や専門家の意見は、発信者の作業の輻輳や情報の重複に留意しつつ共有することが重要かつ課題
⑤ オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から実施されたオンライン情報共有は大変良い取組であったので、今後も取組を継続 ・オンライン情報共有は、岡山県や気象台が開催するオンライン会議・説明会と時期や内容が重複する部分があるため、同時開催や省略等の検討が必要



会議開催状況



西山座長
(吉井川・高梁川)



前野アドバイザー

上流から下流への情報共有を確実に行うためにはシステムの活用が重要である。引継ぎツールの作成など、システムの活用を支援する必要があると感じている。(西山座長)

各機関が引継ぎが十分に出来ていない中で、解説動画や学習サイト、引継ぎチェックリストの作成は有効と感じる。また、システムの有効活用に向けた操作演習も行ってはどうか。(前野アドバイザー)

【参加機関】

岡山市、真庭市、鏡野町、美咲町、倉敷市、井原市、高梁市、新見市、浅口市、矢掛町、津山市、玉野市、岡山地方気象台、中国電力(株)、西日本電信電話(株)、(一社)岡山県LPガス協会、岡山ガス(株)、津山ガス(株)、山陽SC開発、岡山県バス協会、エフエムゆめウェブ(株)、中国四国農政局・高梁川用土地改良区(小阪部川ダム)、苫田ダム管理所、岡山県、岡山河川事務所、広島県

計26機関